３．あたらしい憲法のはなし・民主主義 上下

（※ 関連資料のある箇所は太字で示してあります。）

１．（２）執筆者

【木 田】『**あたらしい憲法のはなし**』**（資料 3-1）**というのは，慶応(義塾大学)の浅井清先生に，もう全部お任せをしたような形で書いてもらいました。ただ，次の『民主主義』と同じなんですが，教科書に初めて漫画を入れることにしました。その『**あたらしい憲法のはなし**』**の漫画（資料 3-4）**は，手塚治虫だと思いました。国定教科書の場合には，執筆者の名前を全部表へ出さないことになっておるもんですから，日本側にはどなたが書いたということは残らないんですね。みんな消えてしまっております。それから『**民主主義**』**上（資料 3-2）・下（資料 3-3）**は，横山フク(隆一)ちゃんと清水昆と手塚治虫の 3 人に手伝ってもらったと。これは『**民主主義**』**上（資料 3-2）・下（資料 3-3）**というのは，かなりかっちりした中身のものですから，相当気合いを入れて執筆者を考え，いろんな方にお願いをして 10 何章ぐらいになったでしょうか，全体が。これも，ちょっと調べようと思ったら，みんなこっちへ送っちゃったなあと思って。そうですね，上だけで 11 章ありますね。下が 12～17 章あります。これはかなりがっちりした内容のものにそれぞれなっておると思います。

これをつくるために，ベルさんという，どこの大学の先生だか知りませんが，社会科の先生がやってきまして，ベルさんと対応でこれをつくりましたが，一番私が参ったのが宮沢俊義さんの担当部分です。鵜飼信成だとか土屋清とかまあそれぞれの，これは私，今思いつきでものを言いましたけれども，戦後の民主主義その他解説をされた，研究をされた研究者の方もアメリカへ行って，何章はだれが書いたとみんなちゃんとチェックしてありますから，ああやっぱりアメリカへ行った方が勉強ができるんだなと思っておりますが，そのときに，こういう人に頼んだかということは，みんなわかると思うんです。それで，最初は宮沢俊義さんに一番最初の書き出しのところをですねお願いしたんです。「民主主義の本質」という。それから第 2 章が「民主主義の発達」，第 3 章が「民主主義の諸制度」「選挙権」「多数決」「目ざめた有権者」「政治と国民」「社会生活における民主主義」と，こういう順番で並んでいまして，「民主主義の本質」は，この柱から申しますと，民主主義の根本精神，下から上への権威，民主主義の国民生活，自由と平等，民主主義の幅の広さと，こういうそれぞれの柱をベルさんと相談しながら，まあ，これでいいかと言いながら，今度はこっちで西村巌さんが調査課長で，英語の先生でしたこの人は。

医科歯科(東京医科歯科大学)から有光(次郎)さんの通訳に連れてこられた人，調査課長で，青木さんの次の課長さんになっていただいて，この本のかじ取りをしてもらったんです。人を割り振っていくときに，この第 1 章の「民主主義の本質」は，宮沢俊義先生にお願いをしたわけです。そして私は，いろんな大先生がそれぞれの章をお書きになったやつをもらって，そして翻訳に回して，向こうと折衝をするという役なんですね。で参ったのは，宮沢さんのものなのです。これはね，こういう趣旨の本ですからと申し上げたのに，全然，中身がかたいんですよね。とても一般の読み物にならない。ところが何ていったって大先生ですからね。宮沢さんにこれ書き直してくれというわけにはいかんので，外すのに困っちゃったわけです。そして，尾高朝雄さんが，これはまた私の大好きな『国家構造論』(岩波書店 1936)とかですね，『実定法秩序論』(岩波書店 1942)とかという，法律学の先生としては本当にすば

らしいなあと思う本をお書きになった方が，京城(帝国大学)を離れて東大に来ておられた。

そして，ひょっと見たらね，宮沢さんよりもちょっと先輩なんだなあ尾高さんの方が。これで助かったなあと思って，それで尾高さんのところへ行きましてね，実はかくかくしかじかだと，こうやって宮沢さんに書いてもらって，この第 1 章に一番困ると。宮沢さんのこれはね，ちょっとほかとバランスがとれないんだと，書き方が。そうしたら，尾高さんが，わかったおれが全部引き受けてやると。これは，その意味では尾高さんが全部通して書いたんです。ほかのところは直す部分はそんなにはないんですがね，第 1 章だけは，くしゃくしゃに直って，没で，尾高さんが全文書いたわけです。で，やっとこっちもねこれなら向こうへ持っていっても恥をかかんなあというものになってこれができたんです。当時，東大の看板の大先生の本をポシャっとやっちゃったもんだから・・・。だけども，ほかにどうしようもないんで，苦労したんですが。そのことで，ようできたと言われているわけですよ。